

なんたん 社協だより

第50号

2021. 10



高齢になっても
住み慣れた地域で
1日でも長く暮らして欲しい
と願っています。



京都府立農芸高等学校の皆さまも
育てていただきました。



認知症になってからの活動
ですが、ひとりになった時、
環境が変わった時、社会参加や
人とのつながりができる
活動も大事かと思います。



花作りが生きがいです。
主人と老老介護しながら
毎日頑張っています。



市民の皆さまから投稿していただいた写真とメッセージ

特集 咲かせよう 思いやりのこころ

目次

| | |
|--------------------------------|-----|
| オレンジガーデニングプロジェクト..... | P.2 |
| 行ってみませんか！認知症カフェ..... | P.3 |
| 認知症サポーターになりませんか？..... | P.4 |
| ご存知ですか？介護者家族会..... | P.5 |
| 赤い羽根共同募金運動が10月1日から始まりました。..... | P.6 |



南丹市社協マスコット
「ニャンたん」



9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。この日を中心に、世界各国で認知症の啓発を実施しています。

また、9月を「世界アルツハイマー月間」として様々な取り組みを行っています。

今回の社協だよりは、『咲かせよう思いやりのこころ』をテーマに、南丹市内で行っている認知症の啓発活動等を紹介します。

(オレンジ色は認知症啓発のシンボルカラーです。
それにちなんで、今回はオレンジ色を基調とした紙面でお届けします。)

オレンジガーデニングプロジェクト 認知症になっても住みやすい地域づくりを目指して



認知症について、ご存じですか？

2025年には、日本の65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。高齢者に限らず、若い年齢から発症する場合があります。

認知症になっても自分らしい生活を続けることができ、気軽に相談できる。南丹市はそんな過ごしやすい地域づくりに取り組んでいます。



オレンジガーデニングプロジェクトとは？

「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなでつくっていく」ことを目的に、9月のアルツハイマー月間にオレンジ色の花を咲かせる活動です。この活動は、昨年新潟県長岡市内から始まり、全国に動きが広がっています。

この取り組みをきっかけに、認知症の人やそのご家族が社会と繋がり、少しでも多くの方が認知症について知り考えられる機会になればと願っています。



地域の皆さまのオレンジガーデニング

表紙の写真とメッセージは、南丹市内の地域住民の方や事業所から投稿していただきました。

南丹地域包括支援センターでは「なんたんオレンジガーデニングプロジェクト」として、今後もなんたんテレビやFacebook、なんたん社協だよりでも紹介していきます。ぜひご投稿ください。



お花の写真を送ってください 期間：10月29日(金)まで
メールアドレス nantan_houkatsu@nantan-shakyo.or.jp

Facebookはこちら



右のQRコードを読み取ってご覧ください。

南丹市の オレンジガーデニング プロジェクトの取り組み



投稿していただいた写真を
多数紹介しています。
ぜひご覧ください。



行ってみませんか！ 認知症カフェ

認知症カフェとは？

認知症カフェとは、もの忘れなどが原因で生活に不安のある人あるいはそのご家族が、気軽に訪れることができる場所です。

ご本人やその家族・知人、医療やケアの専門職、そして地域の人々が集い出会い、なごやかな雰囲気のもとで交流を楽しみ、認知症のことやその対応などについてお互いの理解を深めることができるカフェです。

(出典：きょうと認知症あんしんナビより)



南丹市の「認知症カフェ」

※地域の感染状況により、開催中止の場合があります。
参加前にお電話等での確認をお願いします。



おれんじスポットひよし

場 所 いきいきオアシス日吉
コミュニティルーム(ローソン横)
開 催 日 奇数月 第2木曜
(13:30～15:00)
連 絡 先 日吉ゆう薬局
0771-72-5001
運営団体 おれんじスポットひよし
実行委員会



オレンジカフェふれあい

場 所 デイサービスふれあい本町
開 催 日 毎月 第4日曜(14:00～16:00)
連 絡 先 デイサービスふれあい本町
0771-68-2818
運営団体 特定非営利活動法人
ふれあいけあ園部



カフェちよっといっぷく

場 所 アイリス福祉会
エントランス喫茶コーナー
開 催 日 毎月第3水曜、最終土曜
11:00～15:30
連 絡 先 アイリス福祉会グループホーム
0771-43-0228
運営団体 社会福祉法人アイリス福祉会



ほっこりカフェ

場 所 ほっこり
開 催 日 おおよそ月1回 日曜
昼カフェ 13:00～15:00
随時(夜カフェ) 18:00～21:30
連 絡 先 特定非営利活動法人宅老所 ほっこり
0771-42-2148
運営団体 特定非営利活動法人宅老所 ほっこり



カフェ歩歩歩(さんぽ)

場 所 在宅生活応援団ふあいと
開 催 日 月1回不定期 土曜(11:30～15:00)
連 絡 先 在宅生活応援団ふあいと
0771-62-0077
運営団体 特定非営利活動法人在宅生活応援団
ふあいと

認知症カフェ ～「オレンジカフェふれあい」の場合～

「オレンジカフェふれあい」では、地域のボランティアさんのマジックやお芝居、合唱などを楽しんでいます。(現在は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため自粛中)その後は、来店者とボランティアさんやスタッフとの歓談で楽しんでもらっています。

緊急事態宣言中*は「閉店」していましたが、待ちに待った再開時には「久しぶりやったな」、「元気にしとったか？」など、おしゃべりが弾みました。

今後も認知症の方だけでなく、地域の方々に気軽にお越しいただける「カフェ」でありたいと考えています。

※改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく宣言





認知症になっても地域で暮らし続けられる まちづくりを 認知症サポーターに なりませんか？

南丹市は、認知症になってもできる限り住み慣れた地域で、希望をもって自分らしく日常生活を過ごせる社会を目指しています。あなたもぜひ一緒に取り組みませんか。

認知症サポーターとは？

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族の応援者として偏見を持たずに優しく見守りが出来る人のことです。地域で見かけるオレンジリングは認知症サポーターの証。講座を受けると誰もがサポーターになります。



サポーターの活動

職場や地域などで、気になる方がいたらさりげなく見守る、困っている方には「何かお手伝いできることはありませんか」と声をかけるなど、自分のできる範囲での活動をお願いします。



近所の〇〇さんが心配… 地域でどう見守る？

南丹市内のある地域では、昨年度、民生委員・ふれあい委員の方の声をきっかけに、地域住民向けの講座を開催されました。

認知症の方に対する声掛けの仕方を学び、実際に地域でどんな関わりができるのかを住民同士で考える機会になりました。

企画してみよう！

「認知症サポーター養成講座」

自治会やサロン、学校の授業として開催しませんか？職場内の人権研修としてもオススメです。

「南丹市に住んで良かった」と言えるように、認知症とともに自分らしく暮らせる地域をみんなで一緒に作っていきましょう！受講していただいた人全員がサポーターです。受講された方にはサポーターの目印としてオレンジリングをお配りしています。

【講座内容】 認知症の基礎・本人との接し方など

無料

(約90分間)

※5～6人程度の少人数での申し込みも可能です。

南丹市ではこれまで約5225人※の方が受講し、認知症サポーターになられています！

ぜひ、お申し込みください。 ※令和3年8月末時点

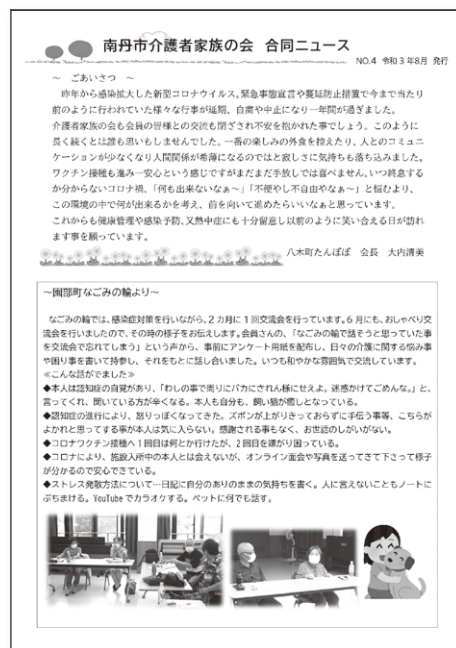


ご存知ですか？ 介護者家族会

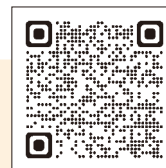
日頃、介護のことで悩んだり、時に「誰かに話を聞いてほしい」と思ったことはありませんか？南丹市には、園部「なごみの輪」、八木「たんぽぽ」、日吉「絆の会」、美山「あいの会」という「介護者家族会」が各町にあります。介護をしている方（介護者）とその家族を支援することを目的に活動されています。

具体的な活動

- サービスや制度に関する情報交換や、介護の悩みなどを気兼ねなく話す交流会
- 日頃の悩みや疲れをリフレッシュできるレクリエーション
- 認知症への理解や介護に役立つ勉強会
- 年に1回、4町合同交流会



コロナ禍で活動が難しい中、昨年から4町合同で『南丹市介護者家族の会合同ニュース』を発行して、介護に寄せる思いや何気ない日常を分かち合っています。



過去に発行した『南丹市介護者家族の会合同ニュース』はこちら▶▶▶

携帯電話等で右のQRコードを読みとってご覧ください。
(社協HP内、南丹地域包括支援センターのページ中ほどに掲載しています。)



会員さんの言葉より…

介護を経験するなかで、良い日もあれば泣きたい日もあるでしょう。我慢して感情を抑え込むのではなく、他の人と十分に話をして分かち合うことで、その時の感情と向き合うことができれば良いのかなと思います。

いきなり知らない人の中で話しにくいな…と思う方

も、まずは他の方のお話を聞くだけでも良いので、気軽な気持ちで会に参加してみませんか？

同じ思いを持つ人たちと交流することで、心が軽くなればと願い、社協は家族会の活動を応援しています。

オレンジガーデニングプロジェクト、認知症サポーター、介護者家族会について

問い合わせ先
南丹地域包括支援センター

園部事務所
電話 0771-68-3150

八木事務所
電話 0771-43-0551

日吉事務所
電話 0771-72-0214

美山事務所
電話 0771-75-1006



赤い羽根共同募金運動が 10月1日から始まりました。



赤い羽根共同募金ってなに？

赤い羽根共同募金は、昭和22年に社会福祉法に定められ始まりました。

南丹市内で集められた募金の7割は市内の福祉活動に役立てられ、地域の身近な福祉活動を資金面から支援しています。

市内の様々な団体の代表から構成された南丹市共同募金委員会で、募金運動の進め方を協議し、募金の使い方、助成額などを決定しています。

また、募金の残り3割は、府下の広域的な活動や大規模な災害が起こった時に、被災地を応援するためなどに使われます。

南丹市の募金は 何に使われているの？

南丹市では、地域の課題を解決し、住みよい町づくりに取り組む活動や、子ども・子育て世代を応援する活動を募集して助成しています。

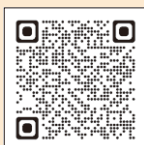
また、障がいがある、介護をしているなどの当事者が、悩みや問題を共有し、解決に向けて取り組まれている活動へも助成しています。

どうすれば募金できるの？

様々な方法で募金にご協力いただいています。

- 戸別募金：ご家庭からの募金
- 法人募金：事業所や企業からの募金
- 職域募金：職場の皆さまからの募金
- 学校募金：生徒の皆さまからの募金
- 街頭募金、イベント募金：街なかやイベント開催時での募金
- 寄付金付き自販機：寄付できる自販機の設置、利用

インターネットでも募金できます。
『南丹市』と地域指定することもできます。



サロン活動助成から



ようきはったカフェ (日吉町)

コロナ禍でもできる取組みとしてポールウォーキングを実施しました。健康づくりとともに地域の魅力が再発見できました。

子育て中のママの交流の場づくりをしています。先輩ママが新米ママを誘って参加されたり、雰囲気の良いサロンができています。



ぶちサロン(美山町)

赤い羽根共同募金



皆さまの温かいご支援、ご協力を
よろしくお願いいたします。



はねっと 南丹市
詳しくは「はねっと」で検索

善意のご寄付ありがとうございました
令和3年6月1日～令和3年8月31日受付分

| | | | |
|------------|----|----------|--------------------------------------|
| 湯浅 長年 | 様 | 100,000円 | 福祉のために |
| ふれあい男の居場所 | 様 | 100,000円 | 福祉のために |
| 廣瀬 強 | 様 | 30,000円 | 福祉のために |
| 末武 隆史 | 様 | 200,000円 | 亡父の供養に |
| 平屋振興会 平井 隆 | 様 | 10,130円 | 福祉のために |
| 中井 幹夫 | 様 | 50,000円 | ベッド借用のお礼 |
| カラオケルームちあき | 様 | 10,785円 | カラオケルームちあき お客様に感謝の会の募 金を福祉のために |
| 久世 耕司 | 様 | 200,000円 | 亡母の供養に |
| 匿名寄付 | 7件 | 210,000円 | |
| 清源寺 | 様 | 米 多数 | 福祉のために |
| 浅田 實 | 様 | 米 多数 | 福祉のために |

令和3年度社協会費への ご協力ありがとうございました。



総額 **6,992,700円**

令和3年8月31日現在

ご協力いただきました会費は地域福祉をはじめとする社会福祉事業の推進に有効に活用させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。